



2021年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月5日

上場会社名 株式会社キューソー流通システム 上場取引所 東
 コード番号 9369 URL <https://www.krs.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 笹島 朋有 TEL 042-441-0711
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日
 配当支払開始予定日 2021年8月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け動画配信）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第2四半期の連結業績（2020年12月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第2四半期	86,721	1.9	1,579	70.4	1,447	76.7	559	390.1
2020年11月期第2四半期	85,064	0.6	926	△57.2	819	△67.1	114	△91.6

(注) 包括利益 2021年11月期第2四半期 1,555百万円 (325.2%) 2020年11月期第2四半期 365百万円 (△76.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第2四半期	45.02	—
2020年11月期第2四半期	9.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第2四半期	107,193	44,802	34.5
2020年11月期	105,414	43,590	34.3

(参考) 自己資本 2021年11月期第2四半期 36,932百万円 2020年11月期 36,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2021年11月期	—	23.00	—	—	—
2021年11月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年11月期の連結業績予想（2020年12月1日～2021年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	2.8	3,800	46.1	3,400	30.2	1,350	85.3	108.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年11月期 2 Q	12,677,900株	2020年11月期	12,677,900株
② 期末自己株式数	2021年11月期 2 Q	249,496株	2020年11月期	249,486株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年11月期 2 Q	12,428,411株	2020年11月期 2 Q	12,428,421株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法）

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場での説明会を見送ることにいたしました。決算に関する説明は、2021年7月6日（火）に機関投資家・アナリスト向けの動画を配信する予定です。なお、決算説明資料については、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続きましたが、サービス支出を中心に個人消費などは弱い動きのまま推移しました。

食品物流業界におきましては、生活様式の変化が荷動きに影響しました。内食需要は堅調である一方、外食需要は回復の動きもみられましたが、3度目の緊急事態宣言が発令されるなど、感染動向が与える影響に十分な注意が必要となっております。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画(2019年度から2021年度)を推進しております。

中期経営計画の最終年度となる2021年度は、「徹底力を生かし生産性向上をめざす年」として、収益力の強化とオペレーションのシンプル化を図るとともに、働き方改革の推進、海外事業体制の確立に取り組んでおります。また、十分な感染防止対策を施し、従業員の安全を確保した上で、社会的役割である食の供給を継続しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は867億21百万円(1.9%増)、営業利益は15億79百万円(70.4%増)、経常利益は14億47百万円(76.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億59百万円(390.1%増)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

(共同物流事業)

共同物流事業収益は、新規取引や既存取引が拡大しましたが、外食需要に関連する業務用食品などの出荷物量減少が影響し、減収となりました。利益面は、減収による利益減少がありましたが、適正料金の収受および、コスト改善などが進捗し、前年を上回りました。

この結果、共同物流事業収益は628億61百万円(前年同期比1.2%減)となり、営業利益は5億4百万円(前年同期は営業損失48百万円)となりました。

(専用物流事業)

専用物流事業収益は、チェーンストアなどの新規取引や既存取引が拡大しましたが、コンビニエンスストアなどの出荷物量減少が影響し、減収となりました。利益面は、コスト改善などが進捗しましたが、減収による利益減少などにより、前年を下回りました。

この結果、専用物流事業収益は180億51百万円(前年同期比1.6%減)となり、営業利益は6億29百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

(関連事業)

関連事業は、インドネシアのKIAT ANANDAグループ4社が連結範囲に加わりました。

この結果、関連事業収益は58億8百万円(前年同期比86.6%増)となり、営業利益は4億30百万円(前年同期比87.7%増)となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ17億79百万円増加し、1,071億93百万円となりました。資産の増加の主な要因は、現金及び預金の減少40億38百万円、受取手形及び営業未収入金の減少3億53百万円はありましたが、有形固定資産の増加59億31百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億67百万円増加し、623億90百万円となりました。負債の増加の主な要因は、支払手形及び営業未払金の減少4億65百万円はありましたが、短期借入金の増加11億46百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ12億11百万円増加し、448億2百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少34百万円はありましたが、為替換算調整勘定の増加4億71百万円、非支配株主持分の増加4億25百万円などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ40億38百万円減少し52億70百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、29億32百万円（前年同期は22億61百万円の収入）となりました。これは主に、仕入債務の減少、法人税等の支払額の発生はありましたが、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上および売上債権の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、73億75百万円（前年同期は35億81百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1億30百万円（前年同期は10億81百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出、リース債務の返済による支出はありましたが、長期借入れによる収入、短期借入金の純増減額の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年1月7日の「2020年11月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,309	5,270
受取手形及び営業未収入金	20,101	19,747
商品	97	77
貯蔵品	117	183
その他	2,715	2,680
貸倒引当金	△224	△229
流動資産合計	32,117	27,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,786	14,572
機械装置及び運搬具（純額）	17,990	18,593
工具、器具及び備品（純額）	1,636	1,720
土地	22,712	23,210
リース資産（純額）	3,465	3,470
建設仮勘定	1,063	5,019
有形固定資産合計	60,655	66,586
無形固定資産		
のれん	2,731	2,754
その他	1,225	1,195
無形固定資産合計	3,956	3,949
投資その他の資産		
投資有価証券	1,974	1,903
敷金及び保証金	4,150	4,239
その他	2,612	2,838
貸倒引当金	△52	△53
投資その他の資産合計	8,684	8,927
固定資産合計	73,296	79,463
資産合計	105,414	107,193

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	13,653	13,188
短期借入金	8,230	9,377
未払法人税等	624	560
賞与引当金	652	682
役員賞与引当金	59	49
その他	9,082	8,745
流動負債合計	32,303	32,604
固定負債		
長期借入金	24,722	25,017
退職給付に係る負債	611	430
資産除去債務	999	1,001
その他	3,185	3,336
固定負債合計	29,520	29,786
負債合計	61,823	62,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	28,933	29,206
自己株式	△361	△361
株主資本合計	36,843	37,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	625	591
繰延ヘッジ損益	△5	△3
為替換算調整勘定	△511	△39
退職給付に係る調整累計額	△807	△733
その他の包括利益累計額合計	△698	△185
非支配株主持分	7,445	7,870
純資産合計	43,590	44,802
負債純資産合計	105,414	107,193

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年12月1日 至 2020年5月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年12月1日 至 2021年5月31日）
営業収益	85,064	86,721
営業原価	81,703	82,203
営業総利益	3,360	4,518
販売費及び一般管理費	2,434	2,938
営業利益	926	1,579
営業外収益		
受取利息	3	27
受取配当金	10	10
受取賃貸料	30	50
持分法による投資利益	—	2
補助金収入	2	37
デリバティブ評価益	—	6
養老保険解約差益	36	43
その他	47	73
営業外収益合計	130	252
営業外費用		
支払利息	57	330
貸与設備諸費用	22	23
持分法による投資損失	25	—
デリバティブ評価損	24	—
未稼働設備関連費用	97	—
その他	11	29
営業外費用合計	238	383
経常利益	819	1,447
特別利益		
固定資産売却益	27	25
関係会社株式売却益	6	—
投資有価証券売却益	—	5
その他	—	0
特別利益合計	33	31
特別損失		
固定資産除売却損	65	70
リース解約損	0	9
貸倒引当金繰入額	—	0
特別損失合計	66	80
税金等調整前四半期純利益	786	1,398
法人税、住民税及び事業税	611	639
法人税等調整額	△130	△23
法人税等合計	480	615
四半期純利益	305	783
非支配株主に帰属する四半期純利益	191	223
親会社株主に帰属する四半期純利益	114	559

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	305	783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△28
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	4	725
退職給付に係る調整額	78	73
その他の包括利益合計	59	772
四半期包括利益	365	1,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184	1,072
非支配株主に係る四半期包括利益	181	483

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	786	1,398
減価償却費	2,216	2,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△41	△77
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△28	△10
受取利息及び受取配当金	△13	△37
支払利息	57	330
持分法による投資損益(△は益)	25	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5
関係会社株式売却損益(△は益)	△6	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△20	△12
有形固定資産除却損	58	57
売上債権の増減額(△は増加)	1,554	438
たな卸資産の増減額(△は増加)	△59	△45
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,237	△731
長期未払金の増減額(△は減少)	△26	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	124	△280
その他	△182	△294
小計	3,193	3,652
利息及び配当金の受取額	21	42
利息の支払額	△56	△331
法人税等の支払額	△928	△741
法人税等の還付額	32	310
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,261	2,932
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,626	△7,636
有形固定資産の売却による収入	37	34
無形固定資産の取得による支出	△59	△199
投資有価証券の取得による支出	△6	△5
投資有価証券の売却による収入	—	42
貸付けによる支出	△112	△11
貸付金の回収による収入	21	405
関係会社株式の売却による収入	164	—
その他	△0	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,581	△7,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500	964
長期借入れによる収入	2,800	2,400
長期借入金の返済による支出	△1,413	△2,261
リース債務の返済による支出	△460	△629
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△285	△285
非支配株主への配当金の支払額	△57	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,081	130
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	273
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△234	△4,038
現金及び現金同等物の期首残高	3,890	9,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,655	5,270

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した、会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	63,609	18,343	3,111	85,064	—	85,064
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	367	637	2,248	3,253	△3,253	—
計	63,976	18,980	5,360	88,318	△3,253	85,064
セグメント利益又は損失(△)	△48	732	229	913	13	926

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	62,861	18,051	5,808	86,721	—	86,721
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	380	548	2,659	3,587	△3,587	—
計	63,241	18,599	8,467	90,309	△3,587	86,721
セグメント利益	504	629	430	1,565	13	1,579

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間に報告セグメントの区分を一部変更しており、これまで「共同物流事業」および「専用物流事業」に区分していた株式会社キューソー流通システムを、「共同物流事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、管理体制を一体化させ、戦略を迅速に実現させることを目的として組織変更を行い、事業展開、経営資源の配分、経営管理体制の実態等の観点から報告セグメントについて改めて検討した結果、報告セグメントは単一セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。